



伊波城跡



伊波城跡の石積み

石川伊波区の集落の北側に位置しており、標高約80mの石灰岩丘陵に築かれた単郭式で野面積みの城跡。今から700年程前に伊波按司によって築城されたと伝えられている。東・南・西側には一重の石垣が築かれ、崖になる北側からは金武湾や石川岳が見渡せます。伊波按司は、安慶名城跡、勝連城跡などのうるま市一帯のグスクとネットワークをもっていたという説もあります。

文化財保護は 地域の手で



伊波城跡の階段部分は、モルタル部分が浮いて亀裂がはいり、藻などが生えて、雨の後には滑りやすく危険な状況でした。

そこで、伊波区(伊波善和区長)や良幸材木、伊波土建など地域の皆さんの協力により、階段の補修、枯木の伐採など、環境整備を行いました。「地域の文化財保護は、地域の手で」という本来のあり方が示せた好例となりました。

歴史のキーパーソン、伊波按司が築城した伊波城跡へ、是非一度、足を運んで見てください!!



文化課 ☎978-7245

羽ばたけ!! スポーツ少年団



野球

志林川ファイターズ

志林川ファイターズは、今年で22年を迎える部員34名のチームです。武富監督、柿、平川、新垣、根路銘コーチの指導のもと、現在中原小学校校舎建て替えの為グラウンドが使用できず、週1〜3回具志川球場等に、父母会に送迎の協力をお願いし「全員野球」を合い言葉に、日々練習に励んでいます。キャプテンの照屋寛汰、ピッチャーの神村叶人を中心に、打って勝つ打撃のチームです。

これまでに、県大会優勝、ブロック大会優勝など数々の輝かしい成績を収めています。当面の目標は、8月に佐賀県で開催される第21回虹の松原カップ九州・山口地区親善少年軟式野球大会で「優勝」し、夏休みの素晴らしい思い出にすることです。

家族や友達を思い、健全な心と体を育み、将来、野球、スポーツは素晴らしいと思えるように、父母会、指導者が連携して、子どもたちを温かく見守っています。



野球

みどり町ドリームス

平成15年に結成したみどり町ドリームスは、現在、天願小学校の児童50名が、比嘉監督、西蔵當、上門コーチの指導のもと、「ひとり」はチームのために、チームはひとりのためにを合い言葉に、日々練習や試合で心・技・体を鍛えています。

ずば抜けた選手はいませんが、6年生を中心に一人ひとりが自分の出来ることを一生懸命できるように頑張りました。

これまで、スポーツ少年団北部ブロック大会準優勝、中部地区大会準優勝、県大会ベスト8など、輝かしい成績を収めています。チームの目標は、8月、兵庫県で開催される全日本都市対抗少年野球淡路島大会と県大会での優勝です。

監督や父母は、挨拶、整理整頓という基本的なことをしっかり守り、野球を通して常にチームワーク、相手を思いやる心を育てて欲しいと、頑張る子どもたちを応援しています。